



棚卸の実施について

すでに、契約第二係よりお知らせがありましたように、平成27年3月31日に棚卸が実施されます。経営効率を高めるため、可能な限り常備薬在庫を使用して下さい。薬剤部においても3月末には在庫数を限りなく0に近づける予定です。中止薬等ありましたら早めに返却して下さい。なお在庫不足により薬の供給が遅れることがあります、ご協力をお願いします。

禁忌、効能・効果、用法・用量変更のお知らせ

◎グロウジェクトBC注射用8mg(一般名:ソマトロピン(遺伝子組換え))

<遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤>

【効能・効果】骨端線閉鎖を伴わないSGA (small-for-gestational age) 性低身長症

【用法・用量】1週間に体重 kg 当たり、0.23mg を6~7回に分けて皮下注射。効果不十分な場合、1週間に体重 kg 当たり 0.47mg まで増量、6~7回に分けて皮下注射。

◎フェニルアラニン除去ミルク配合散「雪印」<代謝異常症用特殊粉乳>[緊急購入薬]

【用法・用量】血中フェニルアラニン濃度を定期的に測定しながら、投与量を定める。

◎トロンピン液モチダソフトボトル1万(一般名:トロンピン)<止血剤>

【禁忌】イブシロンアミノカプロン酸…削除

◎フロリードゲル経口用2% (一般名:ミコナゾール)<口腔・食道カンジダ症治療剤>

【禁忌】プロナンセリン、リバーロキサバン、アスナプレビル

「ダウノマイシン静注用 20mg」のバイアル内圧変更について

★ダウノマイシン静注用 20mg(一般名:ダウノルピシン塩酸塩)<抗白血病・抗悪性腫瘍抗生物質製剤>

製造番号 DMSN2001 以降の製品について、製造ライン変更に伴い、内圧が常圧から陰圧に変更。そのため、バイアルに注射針を刺すと、溶解液がバイアル内に引き込まれますので、ご注意ください。

販売移管のお知らせ

薬剤名	変更前		変更後
アストミン錠 10mg	アステラス	→	オーファン パシフィック
ダントリウムカプセル 25mg・静注用 20mg			
アドベイト注射用 500[緊急購入薬]・2000	バクスター	→	バクスアルタ

包装変更のお知らせ

◎アザルフィジン EN 錠 500mg(一般名:サラソスルファピリジン)＜抗リウマチ剤＞

◎リマチル錠 100mg(一般名:ブシラミン)＜抗リウマチ剤＞

GS1コード追記、デザイン変更

◎エピペン注射液 0.15mg・0.3mg(一般名:アドレナリン)＜アナフィラキシー補助治療剤＞

- ・注射液と練習用トレーナーの取り違い防止のため、個装箱の変更、「エピペン注射液と練習用トレーナーが入っています」の注意書を追記。
- ・登録用ハガキの表記の変更。

◎ベネフィクス静注用 1000 [緊急購入薬]・2000(一般名:ノナコゲアルファ(遺伝子組換え))

＜遺伝子組換え血液凝固第 IX 因子製剤＞

バイアルラベルのGS1コード追記

◎アデホスコークワ顆粒 10%(一般名:アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物)＜代謝賦活剤・抗めまい剤＞

◎オキシフル液 3%(一般名:オキシドール)

◎トレーランG液 50g・75g(一般名:デンプン部分加水分解物)＜経口糖忍容力試験用糖質液＞

◎ラックビー微粒 N(一般名:ビフィズス菌)＜整腸剤＞

調剤包装単位コード表示の追加

◎ニコランジル点滴静注用 12mg「日医工」(一般名:ニコランジル)＜不安定狭心症・急性心不全治療剤＞

バイアルラベルの製造番号・使用期限の表示方法:インクジェット→レーザーマーカールに変更

社名変更のお知らせ

変更前		変更後
アイロム製薬	→	共和クリティケア

販売名変更のお知らせ

変更前	→	変更後
エポプロステノール静注用 0.5mg 「タイヨー」	→	エポプロステノール静注用 0.5mg 「テバ」
エポプロステノール静注用 1.5mg 「タイヨー」	→	エポプロステノール静注用 1.5mg 「テバ」
ノボ・硫酸プロタミン静注用 100mg	→	プロタミン硫酸塩静注 100mg 「モチダ」

オーダー中止のお知らせ

オーダー中止日	薬剤名	理由
2014. 3. 3	仏シト勝注用 81mg	仏ノブラダ-勝注用 40mg 採用のため
	点眼・点鼻用リテ`ロ`ンA液	在庫がなくなったため
2015. 3. 4	エルシ`ン注 40 単位	在庫がなくなったため
2015. 3. 9	イントラ`ビ`ット`輸液 20% 100mL	販売中止のため

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

	主な改訂内容
ラモトリギン (ラミクタール錠・錠小児用)	<p>★警告：薬剤性過敏症症候群等の全身症状を伴う重篤な皮膚障害があらわれることがあり、死亡に至った例も報告されているので、以下の事項に注意。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 用法・用量を超えて投与した場合、皮膚障害の発現率が高いことから、「用法・用量」を遵守すること。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 投与開始時は定められた用法・用量を超えないこと。バルプロ酸ナトリウム併用時の投与開始2週間までは隔日投与にすること（成人のみ）。 (2) 維持用量までの漸増時も定められた用法・用量を超えないこと。また、増量時期を早めないこと。 2. 発疹発現時には早期に皮膚科専門医に相談し、適切な処置。また、発疹に加え以下に示す症状があらわれた場合、重篤な皮膚障害に至ることがあるので、直ちに投与中止。 <p>発熱（38℃以上）、眼充血、口唇・口腔粘膜のびらん、咽頭痛、全身倦怠感、リンパ節腫脹 等</p> 3. 重篤な皮膚障害の発現率は、小児において高いことが示されているので、特に注意すること。 4. 患者又は家族に対して、発疹や上記の症状があらわれた場合、直ちに受診するよう指導すること。
マンチン塩酸塩 (メリアーOD錠)	<p>※重大な副作用：肝機能障害、黄疸 AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、十分に観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。</p>
アピキザパン (エリキュース錠)	<p>※重大な副作用：間質性肺疾患 十分に観察、咳嗽、血痰、息切れ、呼吸困難、発熱、肺音の異常等が認められた場合、速やかに胸部X線、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施。間質性肺疾患が疑われた場合、投与中止、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置。</p>
アビラテロン酢酸エステル (サティカ錠)	<p>※慎重投与：低カリウム血症の患者又は合併症や併用薬等により低カリウム血症を起こすおそれのある患者。 ※重要な基本的注意：下記の点に留意。 (1) 投与開始前に血清カリウム値等の血清電解質濃度を測定し、低カリウム血症が認められた場合、血清カリウム値を補正した後に、投与開始。</p> <p>※重大な副作用： <ul style="list-style-type: none"> ・低カリウム血症・・・痙攣、筋力低下等の症状を伴う低カリウム血症があらわれることがあり、不整脈に至った例が報告されている。定期的に血清カリウム値等の血清電解質濃度の測定を行うなど十分に観察、異常が認められた場合、カリウムの補給や休薬等、適切な処置。 ・血小板減少・・・十分に観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。 ・横紋筋融解症・・・筋力低下、筋肉痛、CK (CPK) 上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇に注意し、このような症状があらわれた場合、投与中止、適切な処置。 </p>
モンテルカストナトリウム (シングレア錠・チュアブル錠・細粒)	<p>※重大な副作用：血小板減少 初期症状（紫斑、鼻出血、歯肉出血等の出血傾向）があらわれた場合、投与中止、適切な処置。</p>
テラプレビル (テラビック錠)	<p>※用法・用量に関連する使用上の注意 高齢者、腎機能障害、高血圧、糖尿病の患者では、重篤な腎機能障害の発現リスクが高くなるおそれがあるため、開始用量の減量を考慮。減量によりHCV RNA陰性化率が低くなる可能性があることから、リスクとベネフィットを十分に勘案。</p>

※DSUについて、最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>) で確認可能。